鞆港・常夜灯前に登場

五段飾りの「雁木びな」

3月16・23日に設置

江戸期の風情が残る福山市鞆町の町並みにひな飾りを飾る「鞆・町並ひな祭」が、3月24日まで開かれている。町内の各種団体で組織する実行委員会は同祭を盛り上げようと3月16・23日、鞆港の常夜灯前の雁木をひな檀に見立てて「雁木びな」を設置する。2月27日に試験展示を行った。

実行委では2015年から、町並ひな祭期間中の夜間に常夜灯周辺でプロジェクションマッピングなどを実施する「鞆の津 宵びな」を催している。雁木びなはその一環として、初めて企画した。

五段飾りで、鞆にゆかりがある室町幕府一五代将軍・足利義昭のキャラクター人形や坂本龍馬の人形、多彩な形の保命酒徳利など約三〇点を展示する＝写真。試験展示では、日が落ちてから灯った常夜灯がひな飾りを照らし、幻想的な雰囲気を醸し出していた。

実行委の事務局を担当する福山市鞆の浦歴史民俗資料館（同町）の檀上浩二学芸員は、「鞆にしかない舞台でひな飾りをご覧いただき、しっとりとした風情を感じてほしい」話した。雁木びなの展示は両日の17時から20時ごろまで。見学無料で、雨天の場合は中止となる。

町並ひな祭では、町内の商家や公共施設など約六〇カ所にひな飾りを展示している。

問　同資料館☎084・982・1121

徳永製菓が新作

「おしるこ落花生」を発売

オンライン限定商品も

豆菓子製造販売の徳永製菓㈱（福山市胡町四―二一、上迫豊社長）は、3月の新作商品「おしるこ落花生」＝写真＝を直営店の豆徳本店（同）などで販売している。

落花生を北海道産のあずきパウダーでコーティングしており添加物は不使用。やさしい甘さで、食べ始めると手が止まらない。軽めの食感も通常の同社製品とは異なっているという。一袋七五グラム入りで、三七八円。

またナッツ菓子の需要が高まっていることを受け、同社のナッツ商品の詰め合わせを開発し、オンライン限定で販売を始めた。箱はかわいらしい掛け紙で彩られており、お茶菓子にもおつまみにもピッタリ。

同社は懐かしい豆菓子からフルーツ味のカラフルな豆菓子、ナッツまでを製造。独自のコーティング技術を用い、さまざまな商品を世に送り出している。

問　豆徳本店☎084・922・2710

4月10日に開講

「ばら大学」受講生募集

福山市は、地域における「ばらのまちづくり」のリーダーを養成する「福山ばら大学」の2024年度の受講生を募集している。

4月から翌年3月まで毎月一回の全一二回で、バラ苗の植え方やせん定の方法、接ぎ木や挿し木の技術を学ぶ。初心者を対象とした「初級コース」と、初級を修了したか五年以上の栽培経験がある人を対象とした「ステップアップコース」がある。

初回は4月10日に開催する。同市本町の市民参画センターが主な会場。受講無料だが、教材費や必要な器具は実費負担となる。申し込み締め切りは3月27日。

ばら大学は10年に開講し、これまでに延べ七四四人が受講している。修了後は地域のバラ花壇育成などに活躍する人が多い。

問　世界バラ会議推進室☎084・928・1210

有効求人倍率は1・78倍

1月の雇用失業情勢

福山公共職業安定所はこのほど、1月の管内雇用失業情勢をまとめた。月間の有効求人数は一万三〇七〇人で前月から四三二人増、有効求職者数は七三五三人で同三六人増。有効求人倍率は一・七八倍で同〇・〇五ポイント上昇した。広島県全体の有効求人倍率は一・五〇倍だった。

産業別の新規求人動向では、前月から増えたのは製造業、卸売業・小売業、生活関連サービス業・娯楽業など。建設業、宿泊・飲食サービス業などでは減った。